

ついに…?! 出店



9月18日、奈良市のなら100年
会館で開催された「第37回奈良県
人権・部落解放研究集会」のランチ
タイムに飲食ブースを出しまし
た。アースデイ、クラフト祭など
過去にもブース出店（出展）はあ
りましたが「食いもん」は、たぶ
ん、ほっとねっと史上初！

田原本で毎春開いている「菜の
花天ぶらパーティ」で披露してい
る自家製タネ油の良さをより多
くの人に知ってもらいたい！！と
の一心で菜の花栽培仲間のコープ
自然派奈良「チームなっぴー」の
全面的な協力の下、出店にこぎつ
けたものです。

せっかくの自慢の油を使うのだ
から、と食材にもこだわろうとい
うことで「米粉のドーナツ」「米
粉のアメリカンドッグ」を販売し
ました。

売れ行きは他ブースの人気商品
に押されていまひとつでしたが、
今まで人権イベントでアピールす
る機会があまりなかった「菜の花
プロジェクト」の活動紹介を貼り
出したり、再生封筒をつくるため
の印刷済み未利用封筒の回収など
新しい試みを併せて行うことがで
きたことは有意義でした。

出店仲間の他店スタッフの方々
からは「がんばりや〜」と差し入
れしてもらったり、商品を買って
もらったり、古封筒を提供して
もらったり・・・いろいろ温かな
応援をしていただきました。それ
を励みに売れる商品目指して！た
くさんの古封筒回収目指して！次
期をうかがいたいと思います。

晩秋のプレイパーク

「夏の残りを楽しむプレイパーク」だった9月5日、森で待機していましたが、午後から雨という予報のせい、夏休み中に遊びつくしたのか、参加者はありませんでした。今度は実りの秋のクライマックスに、昨年好評だった「ネイチャーゲームと芋煮なべ」のセット企画を今年も開催します。きてね。

- 日時：11月13日(土)10:30-14:30
- 場所：冒険遊び場「ひーとびーとの森」
- 持ち物：水筒・おにぎり・よごれてもいい服装・雨がっぱ・バンダナ
- 参加費：小学生以上500円 未就学児無料
- 参加申込・問合せ：ほっとねっとまで

再生封筒事業の充実を目指して・・・

9月13日、「夢・船場」にて



ご縁あって、大阪の若者向け就労支援の‘サロン’であるREワークトゥギャザー「夢船場」に行ってきました。船場センタービルの中にあります。このビル、何号館もあって、いろいろなショップがあって、一日いたら面白そう。

スタッフの方からいただいたサポーターという肩書きの名刺の裏には「REワークトゥギャザーでは、『働きたい』という意欲がありながら、さまざまな事情により『働く環境や機会に出合えていない』若者たちに、実際の職場での幅広い『働く体験』を通して、『就労』を目指すための『個別の支援』を行います」と書いてありました。

こちらで、未利用の古封筒をつかった再生封筒づくりをしていただけるかもしれない、とのことで、作り方の説明がてら、‘サロン’の見学にお邪魔したのです。

たたみスペースあり、接客ソファあり、皆で話したり軽食をとったり作業したりのテーブルあり、対角線上の両端にパソコンあったり・・・と、なかなかいい空間でした。

こちらの皆さんのお力もお借りして、うまくいったらいいな、再生封筒の循環型ミニビジネス。



後日、地元・大阪のとある企業から‘材料’の印刷済み未利用封筒を一箱分提供してもらったとのことで、今後に向けてのよい予感♪

9月20日、環境フェアにて



大和高田市の県産業会館(旧地場産)で開催された「環境フェア」に奈良県環境県民フォーラム自然環境分科会のメンバーとして参加しました。

奈良県 人権・部落解放研究集会に続き、こちらでも古封筒の回収所を設置させていただきました。そして、この日は1日中、封筒から封筒に再生する実演も行いました。広報不足のせいか、残念ながら古封筒の提供はありませんでしたが、企業関係者などから連絡先を聞かれたり、立ち止まってずっと作業の様子を見続ける人がいたり、まずまずの反響でした。

そして嬉しいことに「こんな封筒で出したらカッコいいよね！」とできたばかりの再生封筒を来場者の一人に買っていただき、用意していた専用の領収書とともにお渡ししました。買い手がつくとは予想外のことで、長3サイズになった再生封筒を一枚いくらで売るか、まだ決めていなかったのですが、この日は「でまかせ価格」になってしまいましたが、就労支援の一環としては？！材料費との兼ね合いは？！採算は？！など各方面から意見をいただきながら1枚5円ー10円程度で販売していきたいと思っています。

ところで、同じフロアには「アースデイ奈良」も出展しており、共同企画だった「ハンカチメッセージ」はアースデイならSouthで書いてもらった「緑のハンカチ」も混ざって再登場しました！



再生封筒事業の充実を目指して・・・

9月13日、「夢・船場」にて



ご縁あって、大阪の若者向け就労支援の‘サロン’であるREワークトゥギャザー「夢船場」に行ってきました。船場センタービルの中にあります。このビル、何号館もあって、いろいろなショップがあって、一日いたら面白そう。

スタッフの方からいただいたサポーターという肩書きの名刺の裏には「REワークトゥギャザーでは、『働きたい』という意欲がありながら、さまざまな事情により「働く環境や機会に出合えていない」若者たちに、実際の職場での幅広い「働く体験」を通して、「就労」を目指すための「個別的支援」を行います」と書いてありました。

こちらで、未利用の古封筒をつかった再生封筒づくりをしていただけるかもしれない、とのことで、作り方の説明がてら、‘サロン’の見学にお邪魔したのです。

たたみスペースあり、接客ソファあり、皆で話したり軽食をとったり作業したりのテーブルあり、対角線上の両端にパソコンあったり・・・と、なかなかいい空間でした。

こちらの皆さんのお力もお借りして、うまくいったらいいな、再生封筒の循環型ミニビジネス。



後日、地元・大阪のとある企業から‘材料’の印刷済み未利用封筒を一箱分提供してもらったとのことで、今後に向けてのよい予感♪

9月20日、環境フェアにて



大和高田市の県産業会館(旧地場産)で開催された「環境フェア」に奈良県環境県民フォーラム自然環境分科会のメンバーとして参加しました。

奈良県 人権・部落解放研究集会に続き、こちらでも古封筒の回収所を設置させていただきました。そして、この日は1日中、封筒から封筒に再生する実演も行いました。広報不足のせいか、残念ながら古封筒の提供はありませんでしたが、企業関係者などから連絡先を聞かれたり、立ち止まってずっと作業の様子を見続ける人がいたり、まずまずの反響でした。

そして嬉しいことに「こんな封筒で出したらカッコいいよね！」とできたばかりの再生封筒を来場者の一人に買っていただき、用意していた専用の領収書とともにお渡ししました。買い手がつくとは予想外のことで、長3サイズになった再生封筒を一枚いくらで売るか、まだ決めていなかったのですが、この日は「でまかせ価格」になってしまいましたが、就労支援の一環としては？！材料費との兼ね合いは？！採算は？！など各方面から意見をいただきながら1枚5円ー10円程度で販売していきたいと思っています。

ところで、同じフロアには「アースデイ奈良」も出展しており、共同企画だった「ハンカチメッセージ」はアースデイならSouthで書いてもらった「緑のハンカチ」も混ざって再登場しました！



100年目の検証

講座「『大逆事件』と熊野・新宮グループ」
8月26日 水平社博物館

特別展「『大逆事件』と部落問題」期間中だった8月26日、同テーマの講座が開催されました。講師は「大逆事件の犠牲者を顕彰する会」顧問、新宮市立佐藤春夫記念館館長の辻本雄一さん。社会主義者を一掃するという政府の方針により、社会主義者の幸徳秋水とともに「熊野・新宮グループ」（実際にはそういった結社は存在しなかった）の医師・大石誠之助、新聞社社員・成石平四郎、僧侶・高木顕明、雑貨商・成石勘三郎らを含む26人が逮捕され、12人が死刑になった「大逆事件」から今年で100年。「熊野・新宮グループ」に警察の手が及んだ理由は、同グループが定期開催していた談話会へ幸徳秋水が参加していたことで、彼らが警戒されていたため、と説明。また、成石勘三郎は「天皇暗殺をやるべしと言った」と取調べの調書に記載され、社会主義者としてでっちあげられた、ということです。

それから100年後の今年、虚偽公文書作成、同行使容疑で逮捕、起訴された村木厚子さんが無罪

となり、逆に担当の検察官が証拠を改ざんしたとして、逮捕されました。ずさんな取り調べ、ずさんな調書・・・が時を経て繰り返されているわけで、このような過去の歴史上の事件の丁寧な検証は、今に生きる私たちにとって、とても大切なことであることも考えさせられました。



キャンドル、石けん・・・

今年は「廃油活用」に関する交流会を開催します！

きんき環境館 2010 年度パートナーシップ事業



相互提供で盛り上がった後、共催内容について、クリスマスの前ごろに廃油キャンドルについて2月ごろに廃油石けんについて作り方やイベントでの使い方、保管の仕方など意見&情報交換会を・・・という方向で話がまとまりました。市民運動として廃油回収・活用が各地で広まっていますが、同じような取り組みをしても、集まって話をする機会が少なかったのも、悩みや喜び、将来性など共有したいと思います。ほっとねっともキャンドル作成方法など、わずかなノウハウの提供をしつつ、写真のような、牛乳パックその他の小道具をつかってお菓子をつくるように、テーブルの上で石けんを作る方法を伝授してもらおうと思っています。

ほっとねっとは、今年もきんき環境館の「パートナーシップ団体」に登録しました。去年はきんき環境館と共催でCSRの学習会をやりましたが、今年はおみゼロネット大阪さん、あおぞら財団さんという、大阪で環境問題に取り組む大御所的な2団体さんと一緒に廃油活用についての交流会を開催予定です。初会議だった9月10日、それぞれの団体での今までの廃油活用の取り組みの紹介、情報の

廃油リサイクル交流会 第1回「キャンドルづくり」
○日 時: 2010年12月18日(土) 13:30~15:30
○場 所: きんき環境館
○内 容: ◇廃油キャンドルづくり◇ティータイム~交流会~
詳細はきんき環境館または、ほっとねっとまで

100年目の検証

講座「『大逆事件』と熊野・新宮グループ」
8月26日 水平社博物館

特別展「『大逆事件』と部落問題」期間中だった8月26日、同テーマの講座が開催されました。講師は「大逆事件の犠牲者を顕彰する会」顧問、新宮市立佐藤春夫記念館館長の辻本雄一さん。社会主義者を一掃するという政府の方針により、社会主義者の幸徳秋水とともに「熊野・新宮グループ」（実際にはそういった結社は存在しなかった）の医師・大石誠之助、新聞社社員・成石平四郎、僧侶・高木顕明、雑貨商・成石勘三郎らを含む26人が逮捕され、12人が死刑になった「大逆事件」から今年で100年。「熊野・新宮グループ」に警察の手が及んだ理由は、同グループが定期開催していた談話会へ幸徳秋水が参加していたことで、彼らが警戒されていたため、と説明。また、成石勘三郎は「天皇暗殺をやるべしと言った」と取調べの調書に記載され、社会主義者としてでっちあげられた、ということです。

それから100年後の今年、虚偽公文書作成、同行使容疑で逮捕、起訴された村木厚子さんが無罪

となり、逆に担当の検察官が証拠を改ざんしたとして、逮捕されました。ずさんな取り調べ、ずさんな調書・・・が時を経て繰り返されているわけで、このような過去の歴史上の事件の丁寧な検証は、今に生きる私たちにとって、とても大切なことであることも考えさせられました。



キャンドル、石けん・・・

今年は「廃油活用」に関する交流会を開催します！

きんき環境館 2010年度パートナーシップ事業



相互提供で盛り上がった後、共催内容について、クリスマスの前ごろに廃油キャンドルについて2月ごろに廃油石けんについて作り方やイベントでの使い方、保管の仕方など意見&情報交換会を・・・という方向で話がまとまりました。市民運動として廃油回収・活用が各地で広まっていますが、同じような取り組みをしても、集まって話をする機会が少なかったのが、悩みや喜び、将来性など共有したいと思います。ほっとねっともキャンドル作成方法など、わずかなノウハウの提供をしつつ、写真のような、牛乳パックその他の小道具をつかってお菓子をつくるように、テーブルの上で石けんを作る方法を伝授してもらおうと思っています。

ほっとねっとは、今年もきんき環境館の「パートナーシップ団体」に登録しました。去年はきんき環境館と共催でCSRの学習会をやりましたが、今年はおみゼロネット大阪さん、あおぞら財団さんという、大阪で環境問題に取り組む大御所的な2団体さんと一緒に廃油活用についての交流会を開催予定です。初会議だった9月10日、それぞれの団体での今までの廃油活用の取り組みの紹介、情報の

廃油リサイクル交流会 第1回「キャンドルづくり」
○日 時: 2010年12月18日(土) 13:30~15:30
○場 所: きんき環境館
○内 容: ◇廃油キャンドルづくり◇ティータイム~交流会~
詳細はきんき環境館または、ほっとねっとまで

野次馬情報 掲示板

◎第26回架け橋美術展

(ハンセン病療養所入所者の作品展)

日時:11月12日(金)-17日(水)10:00-17:00

(17日は16:00まで)

場所:近鉄百貨店橿原店6階催事場

入場:無料

主催:架け橋長島・奈良を結ぶ会、橿原人権ネット

問合せ:橿原市人権教育課(TEL0744-29-6990)

◎第2回香豆舎 スペシャルティ珈琲教室

日時:11月13日(土)14:00-16:00

場所:和三カフェ ~WAMI CAFE

(奈良市西ノ京町408-3、近鉄西ノ京駅すぐ)

定員:10人(定員になり次第締切)

費用:2000円(スイーツ&お土産代込み)

内容:珈琲の基礎知識・今、入手できるトップクオリティ

珈琲とは?・お家で珈琲をおいしく入れるポイント(持

参するもの:筆記用具)

申込・問合せ:和三カフェ(TEL0742-31-1787、

wami_gohan@yahoo.co.jp)

◎なら介護の日2010

日時:11月13日(土)10時30分~

場所:奈良県社会福祉総合センター

内容:奈良介護大賞表彰、記念講演「ほっとけ心で

アップレ介護」(講師:講師・田辺鶴瑛さん)、親守

唄・歌会、介護なんでも相談コーナー、福祉用具の展

示など

主催・申込・問合せ:奈良介護の日実行委員会事務局

(TEL 0742-27-8524、FAX 0742-27-3075、E-mail :

choju@office.pref.nara.lg.jp)

◎ ならサンウリム2010

部落開放同盟北和ブロック解放祭

日時:11月14日(日) 10:00-15:00

場所:奈良県解放センター(奈良市大安寺1-23-1)

内容:マダン(広場)でのアトラクション、世界の民族料

理のバザー、民族料理の販売、世界の物品バザー

民族衣装コーナー、遊び・絵本コーナーなど

問合せ:サンウリム事務局(TEL0742-62-5555)

◎ユース国際環境シンポジウム

~50年後の奈良、50年後の地球~

日時:11月13日(土)14:00~16:30(13:30開場)

場所:奈良女子大学 記念館入場:無料(要申込み)

※名前・人数・住所・電話を、Email:

otoiawase@naso.jp に申込(お子様の場合学年も)

託児あり(11月5日までに申込)

内容:作文&絵画コンクールの表彰と最優秀賞作品

の発表(プレゼンター:山下真生駒市長他)、パネ

ルトーク「50年後の奈良、50年後の地球」(コーディネ

ーター:奈良市長・仲川げんさん、パネリスト:奈良

学園高等学校生(日本)、奈良女子大学生(日本)、

桃山学院大学生(アフガニスタン)、奈良女子大学生

(インドネシア)、演劇「みどりの地球を守りたい!~

わたしたちにできること~」(出演:奈良女子大学附

属小学校6年月組のみなさん)、タイムカプセル

(2010年のメッセージを50年後に受け継ぐ)、作文・

作画の展示、メッセージボードに夢をかこう

主催・申込・問合せ:奈良ストップ温暖化の会

(TEL0742-35-6730、IPフォン050-3598-3643、

FAX0742-55-8368)

◎地域ケアについて考えるフォーラム2010

認知症を支える地域づくり

日時:11月27日(土)13:45-16:30(受付13:15~)

場所:まほろばセンター研修室(JR・近鉄桜井駅前

「エルト桜井」2F)

内容:基調講演「認知症になっても住み慣れた地域

で暮らしていくために」(講師:認知症の人と家族の

会奈良県支部副代表・木村秀子さん)、パネルディス

カッション「認知症を支える地域づくり」(コーディネ

ーター:奈良NPOセンター副理事長・村上良雄さん、

パネリスト:より愛代表取締役・田口アキ子さん、総合

介護センターきらり代表取締役・横田政江さん、奈良

県長寿社会課課長補佐・大山泰司さん)

定員:100人

参加費:500円

主催:なら地域ケア研究会・八木一男福祉会

申込・問合せ:事務局(TEL0742-20-5885、

FAX0742-95-5887 地域密着型相談センターとまり

木)

◎Shamachie(シャナヒー)ライブ

日時:11月28日(日)15:30-17:30

場所・申込・問合せ:とおく&らいぶcafé葉音(奈良

市後藤町12-2、TEL・FAX0742-27-5972)

定員:25人(要予約)

参加費:2500円